

# 産業廃棄物実態調査【調査票その1】 (平成26年度実績)

**建設業**  
排出場所:富山市内  
**(記入例)**

本調査で対象とする「産業廃棄物」は事業活動に伴って生じた廃棄物のうち法令で定められた20種類及び特別管理産業廃棄物を指します。  
(業者等に売却したのも対象となります。)  
「産業廃棄物」の具体的な内容は、別紙「1. 産業廃棄物分類コード表」を参照してください。  
なお、「産業廃棄物」が発生しない場合でも調査の対象となります。その場合は、本ページのみご記入の上、調査票を返送願います。

- 《 記入上の注意等 》
1. 本調査は、平成26年度(26年4月1日から27年3月31日まで)の1年間に富山市内で施工した元請工事(出来高工事を含む)から発生した産業廃棄物を対象とします。
  2. 調査票への記入に際しては、別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考にしてください。
  3. 回答いただきました内容につきましては、統計数値として処理しますので、個々の事業所名を公表したり、調査の目的以外に使用することはありません。

締め切りは、平成27年6月30日(火)です。

事業所の概要	事業所名	株式会社〇〇		事業内容	該当する番号に“〇”をつけてください。
	所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 富山県〇〇市△△町□□番地			① 総合工事業
	記入者氏名	〇〇 △△	担当部課 総務部 総務課		2 職別工事業
			電話番号	(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇	3 設備工事業

元請工事実績及び内容	元請工事の有無(富山市内)	工事件数	元請完成工事高
	貴事業所の富山市内での平成26年度元請工事の有無について、 <u>該当する番号を〇で囲んでください。</u>	富山市内での平成26年度の元請工事件数を記入してください。	富山市内での元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入してください。
	① 元請工事 有 (富山市内) 2. 元請工事 無 (富山市内)	平成26年度	3 0 件

※共同企業体(JV)による工事については、各社の持ち分を元請工事高として計上して下さい。

産業廃棄物の発生状況	平成26年度の1年間に貴事業所で産業廃棄物は発生しましたか。 <u>該当する番号を〇で囲んでください。</u>	<p>【調査票その2】に産業廃棄物排出・処理状況等を記入願います。</p> <p>➡ 【その2】へ(次ページ)</p>
	① 産業廃棄物が発生した 『産業廃棄物』に指定されている品目を別紙「1. 産業廃棄物分類コード表」に示します。 なお、事務所から発生する紙ごみ、生ごみ等は「産業廃棄物」ではなく、事業系の「一般廃棄物」です。 2. 産業廃棄物は発生しなかった	

# 産業廃棄物実態調査票【調査票その2】の記入要領・記入例

## 調査対象期間

●本調査は、平成26年度（26年4月1日から27年3月31日まで）の1年間に発生した産業廃棄物を対象とします。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を質問①～③までご記入願います。

## 記入について

●同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①「廃棄物の名称」の欄から行を分けて記入してください。  
●処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票を参考にして記入してください。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

## 発生量について（③年間発生量）

●自社で「焼却」・「脱水」等の処理を行っている場合は、その処理を行う前の「名称」と「数量」をお答え下さい。

○自社で焼却している場合の発生した廃棄物とは焼却前のものです。（記入例Cを参考にしてください）

木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、燃やす前の名称とその分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後量」となります。

○自社で脱水(乾燥)している場合、発生した廃棄物とは脱水(乾燥)前のものです。

汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の重量を把握していない場合は、下記の式等より試算願います。

＜式＞：（脱水<乾燥>前の汚泥発生量）＝（脱水<乾燥>後の汚泥量）÷（100%－脱水<乾燥>後の含水率%）×（100%－脱水<乾燥>前の含水率%）

●ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答え下さい。

○廃酸、廃アルカリを公共水域（河川、公共下水道等）へ放流するために中和処理した場合 → 中和処理後の「汚泥」を発生量とします。

○含油廃水を油水分離した場合 → 油水分離後の「廃油」と「汚泥（油でい）」等を個別に（それぞれ1行ずつを）発生量とします。

●廃油（機械油など）について

○ドラム缶の本数で把握されている場合は、1本＝180kg（200リットル）

○一斗缶の本数で把握されている場合は、1本＝16.2kg（18リットル）として換算してください。

## 記入例

産業廃棄物となる紙くずは、特定の業種に限られます。  
※オフィスから排出されるコピー用紙などは、産業廃棄物に該当しません。

該当する単位に、必ず〇をつけて下さい。

該当する単位に、必ず〇をつけて下さい。

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認して記入して下さい。また、不規則の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入して下さい。

No.	産業廃棄物の名称	②分類コード	③年間発生量	単位	④中間処理方法				⑤中間処理後量	単位	⑥処理処分等の方法	⑦処理、処分又は再生利用先の名称	⑧地域コード	⑨中間処理方法			⑩中間処理後量	単位	⑪処理後の状況	⑫循環利用・埋立の場研	⑬資源化の用途
					1次処理	2次処理	3次処理	1次処理						2次処理	3次処理						
記入例:A	金属くず	1200	20	kg						kg	3	(株)△△鉄鋼	201					kg	1・2	099	1
記入例:B	建設木くず	0800	30	kg						kg	5	〇〇商店	020	8			30	kg	1・2	999	3
記入例:C	廃プラスチック	0600	10	kg	1				1	kg	2	自社	210					kg	1・2	210	
記入例:D	廃プラスチック	0600	1.75	kg						kg	5	(株)××	211	1	20		0.9	kg	1・2	201	
記入例:E	その他のがれき類	1500	70.5	kg						kg	5	(有)〇〇産業	204	8	20		70.5	kg	1・2	204	
記入例:F	コンクリート片	1501	10	kg						kg	6	(有)〇〇	209	20				kg	1・2	209	
記入例:F	〃	1501	110	kg						kg	5	△△(株)	206	8			110	kg	1・2	999	6
記入例:E	建設汚泥	0230	600	kg					100	kg	6	〇〇(株)	201	20				kg	1・2	201	
				kg						kg								kg	1・2		
				t						t								t	1・2		

### 記入例:A

建設工事現場から鉄筋くずが年間20t発生した。

これらは、すべて富山市の(株)△△鉄鋼に売却した。

(株)△△鉄鋼では、鉄鋼材として再利用された。

### 記入例:B

工事現場から木くずが年間にダンブ30台分発生した。  
1台当たり1t積まれていたため発生量は30tとなった。

これらは、すべて長野県の処理業者〇〇商店に処理を委託した。

〇〇商店では、破碎され、燃料として再生利用された。

### 記入例:C

建設工事現場からプラスチックくずが年間に10t発生した。

これらは、すべて自社の焼却炉で焼却した。焼却後の灰の量は年間で1tであり、南砺市にある自社処分場で埋立処分した。

### 記入例:D

建築工事現場から塩ビ管の端材が、年間に5m<sup>3</sup>発生した。  
重量換算すると年間に1.75tとなった。  
(5m<sup>3</sup>×比重0.35=1.75)

これらは、すべて射水市の処理業者(株)××に処理を委託した。(株)××では、焼却処理し、富山市の最終処分場で埋立処分された。

### 記入例:E

建設工事現場から建設混合廃棄物が70.5t発生した。

これらは、すべて魚津市の処理業者(有)〇〇産業に処理を委託した。

(有)〇〇産業では、破碎後、自社の最終処分場で埋立処分した。

### 記入例:F

土木工事現場からコンクリートがらがら10tダンブで12台分発生した。重量に換算すると120t程度である。

このうち10tは、小矢部市に処分場を保有する(有)〇〇で埋立処分した。

残りの110tは、滑川市の△△(株)に処理を委託した。△△(株)では破碎後、骨材として再生利用している。

### 記入例:G

土木工事現場からベントナイト汚泥が発生したが、すべて工事現場内で脱水処理をした。

脱水後の汚泥量は、年間100t(含水率70%)であった。脱水前の量は、脱水前の含水率が95%であるため試算(上記「発生量について」参照)すると600tとなる。  
＜計算式＞100t×(100-70)÷(100-95)=600t

処理後の汚泥は、富山市の〇〇(株)に処理を委託し、そこで埋立処分された。